

淀川流域委ウォッチャーズ・クラブをよろしく

流域委ウォッチャーズ・クラブ連絡担当 細川 ゆう子

2月5日の第39回委員会を傍聴して、以前から危惧していたことが現実になったと思いました。傍聴者が大幅に減ったことです。任期中に、流域委員どうして話していたことですが「ダムについての意見がまとまれば、淀川水系流域委員会への社会の関心は、一気に失われるのではないか。」「それでは委員会で提言したことを、実効性のあるものにできなくなる。」と心配していたのです。以前、寺田新委員長がおっしゃったように、流域委員会の活力は、多くの「地域の特性に詳しい委員」の熱心な発言と活動、傍聴者の参加と発言、意見提出、討論会への参加などの協力に支えられてきたものです。そのパワーが急速に失われるのではないかと心配するのは、私だけではないはずです。

私なりにできることはないかと思い、「毎回出席できなくても、前の委員会の様子が伝わるようなレポートを作ろう。公のじゃなくて、生の空気を伝えるようなやつ。」と、数人の傍聴者の方に話すと「おもしろいんじゃないの。」と仰ってくださいだったので、やってみることにしました。もともと、OBの先生方に傍聴報告をしようと思っていたので、それを傍聴者みんなに見てもらうものに拡大することにしました。ただ、それだけ広げるとなると、有志の取材力では公正さを欠くので、あわせてアンケートを行い結果に基づいてレポートしていきたいと考えています。そんなわけで、「淀川流域委ウォッチャーズ・クラブ」を立ち上げることにしました。

前例のないことでしょうが、サッカーにはサポーター、野球にはファンクラブ、相撲にはタニマチがいます。流域委員会にサポータークラブがあったって、いいんじゃない？

応援だけでなく、批判もきちんとしてます。でも、目的はあくまで、いっしょに「いい川づくり」をしたいということです。その思いを傍聴席から盛り上げたい。

寺田委員長、流域委員の皆さん、河川管理者の皆さん、どうぞこの取り組みの趣旨をご理解の上、温かく見守ってください。当面、傍聴レポート作成とアンケートをやっていくつもりです。よろしくお願いします。

なお、作成者の都合により（2月5日の直後に本当は作りたかったけど、本業が忙しい時期なので、できませんでした。）完成が当日の朝になってしまいました。今、プリントしながら、この意見をまとめています。内容について事前にご相談できなかったことをお詫び申し上げます。参考資料として、流域委ウォッチャーズNo.1、アンケート3月14日版を添付します。

淀川流域委ウォッチャーズNo.1(050205 版)「しっかりしてや! 流域委」

「はじめまして」、淀川流域委ウォッチャーズ・クラブです。

誕生したばかりですが、私設「流域委応援団」です。一般傍聴者の本音を集め、皆さんにお届けします。まずは2月5日の淀川水系流域委員会の報告です。担当はOB委員の細川ゆう子です。

メンバーが大幅に変わってからの初めての委員会です。会場も小さく、傍聴も少ないように感じました。「今日は、どうせセミナーだからね、いつもの4分の1ぐらい」と常連さん。OB委員では倉田先生が来てくださって、うれしかったです。

進行役は退任した芦田先生。新委員長が決まるまでのことだけど、懐かしい声に4年間のさまざまな場面が思い出されました。

会議は委員の紹介で始まったけど、傍聴席からは新規の委員のお顔もよく見えない。初回から欠席が目立ち、継続委員では4人が欠席、1人が遅刻。いくらお忙しくても、この日くらいは出席して欲しかったなあ。欠席委員に1枚目の「イエローカード」。

委員会の目的・任務などの説明ののち、いよいよ新委員長の選出。「立候補、推薦など、どのようにしましょうか」との芦田先生の問いに、すかさず嘉田先生が「推薦にしましょう」と提案。誰を推薦するかの挙手が求められ、千代延さんと寺川さんが真っ先に手を上げましたが、無視されて池淵先生を指名。池淵先生は立ち上がり、「今までの実績から、寺田先生が適任です」と雄弁に発言されました。周囲からは「どうなってるの」と驚きの声あり。

池淵先生とは猪名川部会で一緒だったけど、こんなにはっきり発言するのを聞いたことがなかった。猪名川部会でもこれくらいわかりやすく発言していただきたかったなあ。千代延さんから「今本先生か寺田先生がいいと思っていた」、寺川さんも「まあ、寺田先生で」ってことで、「寺田先生がいい人」、パチパチパチでおしまい。「事務局案と変わらない」、「出来レースだ」との声しきり。

ザンネン!と言うのも、以前、川那部先生が「委員長は、互選で選ばないといけない。事務局案では、自分達が選んだ委員長だと思えず、選んだ責任が持てない」とおっしゃっていたのです。

だから互選ってことは、立候補や推薦で、3、4人の候補が上がり、「私が委員長になったら、こういう流域委員会にしたい」とそれぞれ選挙演説をし、新規の委員もみんな「あの人がいい」、「この人がいい」と議論し、最後に選挙をして決まるっていうのをイメージしてたんだけどなあ。傍聴席の評価が低いのは悲しいよ。

2年後には、そういう「さすが淀川水系流域委員会」と言われるような委員長選出にしてくださいね、寺田新委員長さま。

その後、新旧委員長の挨拶がありました。寺田先生の挨拶は、原稿まで用意して完璧な演説でしたが、「長いなあ」と傍聴の皆さんは私語することしきり。よく聞こえなかったせいもあるけど。

ここで、所属部会の調整のため、30分以上の休憩。待つ身になると、長すぎですね。前もって調整しておいて欲しかったな。

休憩中に、何人かの常連さんや、傍聴者どうして話していたのを紹介すると、「学者が多い」、「京大出身ばかり」、「河川工学者

が多すぎる」、「年齢制限までしたのに、若返っていない」、「出席や発言がよくなかったのに、なぜこの人が残るのか」、「女性が少ないすぎる」、「若者がいない」、「地域の特性に詳しい委員が減った」など、厳しい批判をされていました。

さて後半は、委員の所属部会が発表され、部会長の選出。琵琶湖は中村委員、淀川は今本委員、木津川は川上委員、猪名川は池淵委員に決まりました。でも、せっかくの互選なのに、1人が推薦してパチパチで決まりっていうのは、やっぱりつまらない。いつもほろくそに言われてきた元猪名川部会委員としては、部会長の進行の技術で議論が活性化するかどうか決まってしまうのに、もっとよく考えて決めてほしかった。寺田委員長が、委員長代理に三田村委員を指名。部会長代理は新部会長が指名することになり、猪名川は、池淵部会長が環境の村上委員、木津川は、川上部会長が水質の村上委員を、それぞれ指名。淀川は今本部会長が「もう少し考えたい」と指名を留保、中村部会長欠席のため、琵琶湖も持ち越し。その後淀川は、千代延さんが指名されたそうです。理由は「新規の委員、河川工学者じゃない、京大出身じゃない、全会出席する意志があるの4点だそう。新委員会は、各分野の専門家が中心になるようシフトしたようだけど、一般住民の意見の反映も重要だと思う。千代延さん、一般住民代表として、ぜひがんばってね。

河川管理者から「今後の委員会を円滑に進めるため勉強会をしたい」との提案があり、「従来の委員も勉強し直したほうがいい」ときついで意見も出ました。「現地に行ったことがないから、発言できない」、「現地視察に参加してもらおう」との応酬あり。

「始まった、始まった。新委員の方、がんばってね」と、笑える幸せ。こうして第39回流域委員会は幕を閉じたのでした。

でも全体的には、なんか低迷した印象で終わった感じ。それで私も過去を忘れて、「低迷した議論を聞かされてると、傍聴者もストレスがたまる」と発言しちゃいました。

だってね、「委員の数が減って、学者が増えて、淀川水系流域委員会はつまらなくなった」と言われたくない。そのためにはOBの先生方がどんどん傍聴に来てくださって、後任の専門の先生が流域委員会の提言に合わない発言をされたら、指摘して討論に参加してほしい。委員会に住民パワーが減った分、傍聴者の皆さんに活発に委員会に働きかけてもらいたい。そうすれば、淀川水系流域委員会はもっといい川づくりをできるように思う。

そのような思いで有志が集まり、「淀川流域委ウォッチャーズ・クラブ」を結成しました。個人的な意見の違いを超えて、傍聴席から「淀川水系流域委員会」が住民により開かれた委員会になるよう応援します。代表も会則もない幽霊みたいな存在だけど、がんばります。とりあえず、ニュースの発行、委員会でのアンケートなどをするようになりました。「ウォッチャーズ編集委員会」は委員会の休憩時と終了後のフロアです。意見のある方、ぜひ聞かせてね。連絡・発行などは、当面、細川ゆう子が担当します。

流域委ウォッチャーズ・クラブアンケートご協力のお願い&アンケート用紙

流域委ウォッチャーズNo.1、お読みいただけたでしょうか？今回は、一部の方のご意見しか聞けませんでした、できるだけ傍聴席のご意見を反映した内容にしたいと考えています。ご意見、ご感想、アドバイス、お叱り、なんでも歓迎です。ぜひ、このアンケート用紙にご記入ください。

1. 「継続委員」あなたなら、誰を選びますか？または選びませんか？

定員は、16名ですが、何人記入してもかまいません。残したい人に○、辞めてほしい人に×をおつけください。

芦田 和男		倉田 亨		西野 麻知子		松本 馨	
有馬 忠雄		小竹 武		仁連 孝昭		水山 高久	
池淵 周一		小林 圭介		畑 武志		三田村 緒佐武	
井上 良夫		宗宮 功		服部 保		村上 悟	
今本 博健		田中 真澄		原田 泰志		森下 郁子	
江頭 進治		田中 哲夫		尾藤 正二郎		矢野 洋	
大手 桂二		谷田 一三		畚野 剛		山村 恒年	
荻野 芳彦		田村 悦一		藤井 絢子		山本 範子	
嘉田 由紀子		塚本 明正		細川 ゆう子		吉田 正人	
川上 聡		寺川 庄蔵		本多 孝		米山 俊直	
川那部 浩哉		寺田 武彦		楨村 久子		鷺谷 いづみ	
川端 善一郎		寺西 俊一		榊屋 正		和田 英太郎	
紀平 肇		中村 正久		松岡 正富		渡辺 賢二	

2. 新しい流域委員会の顔ぶれについてのご感想

該当するものに○をおつけください。

- ① 学者が ・多い ・適当 ・少ない ・その他 _____
- ② 地域の特性に詳しい委員 ・多い ・適当 ・少ない ・その他 _____
- ③ 年齢制限すべき？ ・意味があった ・意味がなかった ・どちらとも言えない ・その他 _____
- ④ 年齢のバランス ・よくなった ・変わらない ・悪くなった ・その他 _____
- ⑤ 男女のバランス ・よくなった ・変わらない ・悪くなった ・その他 _____
- ⑥ 専門分野のバランス ・よくなった ・変わらない ・悪くなった ・その他 _____
- ⑦ 何でも、感じたことを _____

3. 流域委ウォッチャーズについて

- ・ 次号も読みたい ・もらえば、読んでもいい ・もう読みたくない ・その他 _____

4. ウォッチャーズ・クラブに参加してくれる？

- ・ 参加したいので、傍聴しなくても送ってほしい。 メールアドレス _____
- ・ アンケートぐらいは協力してもいい。
- ・ 参加するのは、ごめんだ。

ご協力ありがとうございました。